

【公表】事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	スタジオそら大岡山		
○保護者評価実施期間	2025年11月12日		～ 2025年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 68名	(回答者数)	38名
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【こどもの特性や発達段階を丁寧に把握した個別支援の実施】 本事業所では、アセスメントや日々の行動観察を通じて、こどもの特性や発達段階を丁寧に把握した上で支援を行っています。個々の課題や強みに応じた個別性の高い支援が、こどもの安心感や成長につながっている点が強みであると考えています。	児童発達支援ガイドラインに基づき支援計画を作成し、視覚的配慮や構造化を意識した環境づくりを行っています。こどもが見通しを持って安心して活動できるよう工夫しています。	職員研修やケース検討の機会を増やし、支援に対する理解や専門性の向上を図っていきます。経験の差による支援のばらつきを減らし、支援の質の均一化につなげていきます。
2	【保護者との信頼関係を重視した共感的な関わり】 保護者の思いや不安に寄り添い、共感的な姿勢で関わることを大切にしています。保護者評価においても、職員の対応や言葉がけに対する肯定的な意見が多く、信頼関係の構築が支援の基盤となっています。	支援内容やこどもの様子について、分かりやすく丁寧に伝えることを意識しています。フィードバックや相談対応を通じて、家庭と事業所で共通理解を持てるよう努めています。	支援の目的やねらいについて、保護者により分かりやすく伝える工夫を進めています。説明の充実により、支援内容への理解と納得感を高めていきたいと考えています。
3	【職員間で連携しチームとして支援を行う体制】 支援前後の打ち合わせやケース共有を通じて、職員間で情報共有を行い、チームとして支援に取り組んでいます。複数の視点を活かした支援体制が、支援の質の向上につながっていると捉えています。	支援開始前にはその日の支援内容や役割分担を確認し、終了後には振り返りを行っています。こうした日常的な打ち合わせを通じて、こどもの様子や気づきを職員間で共有しています。	保護者からの意見や要望を踏まえながら、支援内容や関わり方を柔軟に見直していきます。ニーズに応じた取組を検討し、満足度の向上につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【職員の経験差による支援の捉え方の違い】 職員の経験年数や専門性の違いにより、支援の進め方や説明の仕方に差が生じる場合があります。支援の質を安定させるための課題と考えています。	職員のバックグラウンドや経験年数の違いが、支援方法や視点の差につながっていると捉えています。十分な共有や整理が必要な状況があります。	研修やケース共有を通じて、支援の視点や考え方を整理し、職員間の共通理解を深めていきます。支援の質の安定を図る取組を進めていきます。
2	【プログラムが固定化していると感じられる可能性】 支援の継続性を重視する一方で、一部の保護者からは活動内容が固定化しているように感じられる場合があります。支援の意図が十分に伝わっていない可能性もあると捉えています。	こども一人ひとりに丁寧に向き合うことを優先してきた結果、集団活動や交流の機会を意図的に限定してきたことが要因の一つと考えています。	支援内容を定期的に振り返り、必要に応じてプログラムを見直していきます。固定化を防ぎつつ、目的に応じた柔軟な支援を行っていきます。
3	【家族支援や交流機会が限定的である点】 個別支援を中心とした運営のため、保護者同士やきょうだい同士の交流機会、家族支援プログラムの実施が限定的となっています。この点は課題として認識しています。	相談対応は行っているものの、家族支援をプログラムとして体系的に整理できていなかったことが、課題につながっていると考えています。	保護者のニーズを丁寧に把握しながら、家族支援や交流の機会について段階的に検討していきます。無理のない形で、より利用しやすい事業所運営を目指します。

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名	スタジオそら大岡山
------	-----------

公表日 年月日

利用児童数 68 回収数 38 回収率 56%

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	0	0	0	・個別での活動には十分だと思いき ・半分に仕切っていたりするときは狭く 感じることもある。	各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	3	0	2	・マンツーマンなので適切だと思います。 ・事務所不在の日があり、電話や来客の対応が大変そう。	法令上の配置基準を満たしております。職員の欠動がある際も対応できるよう、社内で連携しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	6	2	0	・視覚的な刺激になるようなものは置かずに、スッキリと整えられています。 ・駐車場の砂利に気を取られて次の動作に移れない。	事業所内の構造化に努めております。建物の構造上、バリアフリーではない箇所がございますので、何かお手伝いが必要な場合はお気軽にお声がけください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	1	0	0	・清潔に保たれていると思います。 ・トイレがもう少し子ども向けだったら、と思う。	引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境を目指します。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	3	0	2	・子どもの目線や訴えていることをよく感じ取ってくださっています。 ・先生のご経験に差があるかなと思う。	社内研修の充実を図り、より支援の質を向上できるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	1	・合っていると思います。 ・相談しながらやっております。	HPにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	37	0	0	1	・考慮された個別支援計画が作成されていると思います。 ・言語化できなかったことも、意向を汲んで丁寧に計画してくださっています。	引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1	0	5	・具体的な支援内容が設定されていると思います。 ・ガイドラインのことがよくわかりません。	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	0	0	2	・支援計画に沿った支援が行われていると思います。	打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	7	0	0	・先生ごと工夫してくださっています。 ・プログラムは似たようなものが多い気がします。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	14	15	・交流の機会はありません。 ・個別支援なのでこちらも要望なし。	ニーズが少ないため事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	1	・はじめにしっかりと説明の機会を設けていただきました。	引き続き、丁寧に分かりやすい説明に努めてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	0	0	0	・「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました。	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心がけてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	11	11	・プログラムの最後に保護者が参加する時間やフィードバックを頂いています。 ・研修はないような気がしますが、相談には随時乗っただけです。	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っていませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後、何かございましたらお気軽にご相談ください。
保護者 への 説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	2	0	1	・こどもの健康や発達について共通理解ができていると思います。 ・もう少しフィードバックの時間があると家庭の様子等伝えやすい。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	5	1	2	・支援計画の更新時などにお話しする機会があります。 ・定期的にはありませんが、希望すれば対応頂いています。	支援計画の更新に合わせて、定期的な面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1	0	1	・前向きになる言葉がけ、親の気持ちに寄り添う対応に、感謝しております。 ・先生によって差がある。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	15	14	・保護者同士の交流機会はないので、今後機会があると嬉しいです。 ・家族向けのプログラムはありません。	ニーズが少ないため実施はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2	1	5	・親身になって聞いてくれる職員が多い。 ・そういった機会はなかった。	お気軽に相談いただけるような環境を整えることを意識しております。お話いただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	0	0	2	・親にも子供にも、わかりやすく丁寧な説明をさせていただきます。	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	3	0	8	・そら通信の配信があります。 ・スケジュールや通信等、メールで連絡頂けるので助かります。	HPIに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っています。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	1	0	0	・振り返りをするときも十分な距離があります。 ・入会した時に説明はありました。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	2	0	4	・避難訓練をきちんとしています。 ・入会時に説明はありました。	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	0	0	3	・避難訓練及び引き渡し訓練は行われています。	定期的に避難訓練を実施しております。会員の皆様にも参加のご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1	0	3	・安全に十分気を配っていただいています。 ・駐輪場から外に出る時に、かなり飛ばす車も多く特性がある子供だと思われ行動もするので危ないのではと思う事があります。	安全管理計画を策定し、社内で研修を行っています。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	0	0	11	・活動中にぶつけた等のちょっとした怪我でも報告してくれる。 ・そのような機会は幸いありませんでした。	事故対応について、マニュアルに定め社内で周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1	0	0	・どの先生とも楽しく活動できているので安心感があるようです。 ・行き渋りがあります。	お子さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	1	0	・毎回楽しく行っており、終わった後楽しそうに話しています。 ・行き渋りがあります。	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	1	・そらでの活動で子供が大きく成長しており大変感謝しています。 ・入会したばかりで判断出来ない。	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

【公表】事業所における自己評価(児童発達支援)

事業所名		スタジオそら大岡山		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	事前に打ち合わせを行い、最も効率的かつ効果的な活動を検討しております。	今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	予約に応じて配置人数の調整を行っています。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	視覚補助を用いるなど事業所内の構造化に努めています。情報伝達についてもカードやハンドサイン等を活用し、配慮を行っております。	引き続き子どもたちが分かりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃の他、毎月のクレンリネスチェックで点検を行っています。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	プログラム内容やお子さまの状況に合わせて、適宜部屋を分けて使って活動しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	療育前の打ち合わせ時や終礼時に職員間でお子様情報を共有しています。必要に応じてスタジオ会議を開催し、ケース検討や研修に取り組んでいます。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	保護者評価を実施しています。頂いた評価やご意見を元に職員間で話し合い、改善につなげています。	職員全体で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	日々の朝礼・終礼やスタジオ会議等、職員間で話し合い、改善につなげています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	第三者評価は行っていません。	必要に応じて実施を検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	全社員での研修や、社内研修、スタジオ内研修、また社内サイトやマニュアル等により、学びの機会を常に設けております。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成し、HPにて公表しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	複数の職員でケース会議を行い、作成しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画に沿った活動を行うよう、研修や育成を行っております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	社内独自のアセスメントツールの活用その他、日々の行動観察や保護者からの聞き取りをもとに行っています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけでなく、保護者や園・学校等に関しても必要に応じて対応しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	打ち合わせを行い、目標の達成状況を確認して方針を決めています。前回担当者との共有も話し合いながらプログラム内容を決めています。	引き続き、職員間で意見交換をしながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	前回の内容なども振り返りながら、飽きないよう楽しく取り組める工夫をしています。	固定化が必要な内容については意図的に行い、お子さまが楽しく活動できるよう工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	基本は個別療育を中心に取り組んでいますが、本人やご家族の方からの要望に沿って、集団活動の目標を設定しています。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼・昼礼を行い、振り返りや注意事項などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼時に活動の報告、振り返り、保護者と話した内容などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援手法や達成度が分かりやすいように留意しながら記録を取っています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法等を確認できるようにしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。必要に応じて他の職員も参画できるよう調整をいたします。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じ、相談支援事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っております。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4	機会がありませんが、必要に応じて行います。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
保護者への説明等	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	主にフィードバック時にご家庭・園での様子等を伺い、共通理解を持つよう努めております。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。また、HP等で情報発信もしております。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	作成時に聞き取りを行い、保護者や本人の要望や意向の確認を行っております。	今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	面談を行い、計画内容の説明・同意を行っております。	今後も丁寧な説明に努めます。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者とのコミュニケーションを密に取り、相談しやすい関係性の構築に努めています。状況によっては面談の機会を設けています。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。
保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	ニーズが少ないため、実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	相談窓口を設置し、掲示の上周知をしています。契約時にもご説明をしております。	相談や申入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。

	38	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っております。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報書類は鍵付きの書庫で管理しております。また、フィードバック等は他の保護者との距離をとり実施しております。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離などに留意いたします。
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵カードや文字での提示など、理解度に合わせた提示の仕方を工夫しています。保護者の方とは日頃からコミュニケーションを取るよう心がけています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	イベント等で地域のお店を利用するなど地域交流を図っています。HPやSNSで活動の紹介をするなど、地域や一般の方に向けても情報発信をしています。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に避難訓練やその他研修、マニュアルの読み合わせ等を行っております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	フェイスシートや発作時対応シートを提出いただき、毎年確認しています。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	食事の提供はありませんが、アレルギーの有無・内容についてはフェイスシートに記入の上ご提出いただいております。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を策定し、計画に沿って社内で研修や訓練を行っております。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	熱中症の注意喚起など、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。	引き続き、内容の周知を図っていきます。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	日々の打ち合わせの中で共有・対応の検討を行っております。また、ヒヤリハット報告書を作成しております。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	定期的に虐待防止研修を実施しています。また、必要に応じて児童相談所・子ども家庭支援センターやその他の関係機関と連携を図っております。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	職員に対し、内容周知のための研修を行っております。今年度対象児童は居りません。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	